

～みんなで作ろう～ 震災復興祈念

100万人の七夕飾り

仙台の七夕まつりは、藩祖・伊達政宗公の時代、街の人々が願いを込めて軒先に笹飾りを飾り付けたのが始まりとなり、実に400年の歴史を持っています。

小さな竹に短冊を飾りつけるという、仙台市民であれば皆、誰しものが、幼少時代に経験しているあの風景にこそ、その原点があったのです。

「笹竹に短冊を吊るして、思い思いの願いを込める。」

今年の仙台七夕まつりは、「復興と鎮魂」をテーマに、震災からの復興を祈念し、また震災の犠牲となった方々を弔うため、「100万人の七夕飾り」実施することといたしました。



地域のさまざまな場所に、笹竹を設置し、市民の皆さんがご家族で作っていただいた短冊をそれぞれ持ち寄っていただき、願いを込めながら竹に吊るすことに100万市民全員の手で、伝統の「七夕まつり」を創り上げようというものです。

ご家族で短冊をお作りいただき、下の点線部分からはさみで切り取っていただいたうえ、市内各所(下記参照)に設置してある、専用笹竹に吊るしてください。

さあ、皆さんと一緒に、「100万人の七夕飾り」をつくりましょう。

【専用笹竹設置箇所】

市役所、各区役所・総合支所、市民センター、博物館・科学館・動物園等市民利用施設(8月4日頃～8日に設置しています)

勾当台公園市民広場等七夕まつり会場(8月6日～8日に設置しています)

※なお、期間中に開館している市民センターについては、市ホームページ等でご確認願います。

笹竹に吊るす紐、こより等は、各自ご準備願います。

100万人
の七夕飾り

点線に沿って
切り取って、み
んなで思い思
いの短冊を作
りましょう。